

第47回関西財界セミナー 開催概要

1. 期 日 2009年2月5日(木)～6日(金)
2. 場 所 国立京都国際会館
3. 主 催 (社)関西経済同友会、(社)関西経済連合会
4. 協 力 大阪商工会議所、京都商工会議所、神戸商工会議所、関西経営者協会
(財)関西生産性本部、(社)京都経済同友会、(社)神戸経済同友会
5. メインテーマ
「関西から変わる、関西から変える～グローバル危機を乗り越えるために～」

6. スケジュール (敬称略)

2月5日(木)

◇全体会議 [9:30～12:10]

(1)開会挨拶

齊藤 紀彦 (社)関西経済同友会 代表幹事

(2)主催者問題提起

下妻 博 (社)関西経済連合会 会長

(3)パネル・ディスカッション

中野 健二郎 (社)関西経済同友会 代表幹事 [議長]

井戸 敏三 兵庫県知事

本間 正明 (財)関西社会経済研究所 所長、近畿大学 世界経済研究所 教授

立石 義雄 京都商工会議所 会頭、オムロン(株) 会長

◇昼 食 [12:10～13:15]

◇分科会討議 [13:15～17:45、2月6日(金) 9:00～12:30に続く]

(1)関西ブランドと競争力基盤の強化

関西が人・企業の集積する魅力的な地域になるには、ソフト・ハード両面の強化と世界に向けた発信が重要である。「世界の中のKANSAI」の強みや魅力を関西ブランドとしてとらえ、実現方策を議論する。また、ビジターや住民に必要な都市・生活基盤や競争力強化のためのインフラのあり方について、グローバルかつ広域的な視点で議論する。

<セッション構成>

- ・関西のブランド力向上とアクション
- ・魅力ある都市・生活基盤の整備
- ・アジア、世界へつながるインフラの整備と活用

議長：角 和夫 阪急電鉄(株) 社長

芝野 博文 大阪ガス(株) 常任顧問

意見発表者：

松本 孝 三和実業(株) 社長
田井中 邦彦 (株)電通 専務取締役関西支社長
田中 幸 阪神高速道路(株) 会長
関 幸子 秋葉原タウンマネジメント(株) 専務取締役
上村 多恵子 京南倉庫(株) 社長
奥田 楯彦 西日本高速道路(株) 社長COO

(2) 新たな産業発展モデルを探るーグローバル市場創造への道ー

関経連や行政機関が示した産業ビジョンを踏まえ、有望な新産業、強化すべき既存産業のグローバル展開等について、具体例に基づき議論する。それらを実現するための新たな産学官コラボレーションのあり方などを示し、ビジョン実現に向けた第一歩を踏み出す。

＜セッション構成＞

- ・新たな産業ビジョン実現のための課題
- ・グローバル展開の課題解決策
- ・産業創造のための産学官コラボレーション

議長：松下 正幸 パナソニック(株) 副会長
安藤 力 住友金属工業(株) 副社長

意見発表者：

細川 昌彦 中京大学 経済学部 教授
小谷 茂雄 グンゼ(株) 相談役
山懸 丞 アジア開発銀行 民間部門業務局ディレクター
三宅 泰明 三星ダイヤモンド工業(株) 社長
白井 大造 大阪市 水道局長
藤野 隆雄 関西電力(株) 常務取締役

(3) 政治のリーダーシップと構造改革

解散・総選挙をめぐる政治の停滞により、経済危機打開や構造改革などについて有効な政策がとれず、国政の基軸が揺らいでいる。今後、強力な政治のリーダーシップが発揮されることを求めて、建設的な議論と提言を行う。さらに、自治体改革、地方分権改革と道州制実現の確実な道筋について徹底的に議論する。

＜セッション構成＞

- ・政治の現況をどう打開するか
- ・道州制の実現への「道筋」をどうつけていくか

議長：森下 俊三 西日本電信電話(株) 取締役相談役
佐藤 茂雄 京阪電気鉄道(株) CEO

意見発表者：

園田 博之 衆議院議員、自由民主党政務調査会長代理
藤井 裕久 衆議院議員、民主党最高顧問

福島 伸一	パナソニック(株) 専務
飯尾 潤	政策研究大学院大学 教授
宮脇 淳	北海道大学公共政策大学院 教授、 内閣府 地方分権改革推進委員会 事務局長
西川 一誠	福井県知事
木下 敏之	東京財団 上席研究員、前 佐賀市長

(4) 大転換期の企業経営

世界経済は未曾有の金融・経済危機に直面しているが、企業は次の成長の芽を探し続けなければならない。経済危機下での企業経営や生き残り策についての議論に加え、米国型企业経営の評価、日本型企业経営との比較も行う。

また、依然止まない企業不祥事について、経営者の姿勢、不祥事を起こさない組織などを検討する。

＜セッション構成＞

- ・世界経済危機下の企業経営、企業の生き残り策 -競争力の源泉を考える-
- ・米国型企业経営の評価
- ・企業の不祥事をどう防ぐか -経営者の役割-

議長：長島 徹 帝人(株) 会長

山中 諄 南海電気鉄道(株) 会長兼CEO

意見発表者：

金田 治 日本アイ・ビー・エム(株) 副会長

原 直史 ソニー(株) 業務執行役員SVP

加護野 忠男 神戸大学大学院 経営学研究科 教授

藤森 義明 日本GE(株) 社長兼CEO

米澤 英一 (株)パロマ 常務取締役

上野 治男 法政大学大学院 イノベーション・マネジメント研究科専攻 客員教授

(5) 危機突破の経済戦略

わが国が、世界経済危機を突破していくための戦略はいかにあるべきか。深刻な景気後退を前に、経営の現場からみた「景気回復と構造改革」の戦略について徹底的に議論する。さらに、短中期的視点から、厳しいグローバル競争を勝ち抜くために、日本経済の国際競争力の抜本的強化策を議論する。

＜セッション構成＞

- ・世界経済危機と日本経済の行方
- ・危機突破の経済戦略 -「景気回復と構造改革」のシナリオ-
- ・グローバル競争を勝ち抜く上での日本経済の短中期課題

議長：村田 隆一 (株)三菱東京UFJ銀行 副頭取西日本駐在

岡野 幸義 ダイキン工業(株) 社長兼COO

意見発表者：

奥 正之 (株)三井住友銀行 頭取

森 信茂 中央大学法科大学院 教授

大久保 尚 武 積水化学工業(株) 社長
筑 紫 勝 麿 サントリー(株) 常務取締役
藤 野 達 夫 伊藤忠商事(株) 常務執行役員関西担当役員
酒 井 博 司 (株)三菱総合研究所 政策・経済研究センター
センター長・主席研究員

(6) リスクをチャンスにー地球温暖化問題と食料の安全保障ー

地球・人類の持続可能性を脅かす「地球温暖化問題」と食料自給率の向上など「食料の安全保障」について、内外の動向も踏まえつつ、わが国の対応のあるべき方向、関西の強みや特徴を生かしてリスクをチャンスに変える取り組みの方向について議論する。

＜セッション構成＞

- ・地球温暖化をめぐる課題の所在
- ・「環境先進地域・関西」を目指して
- ・食料自給率の向上と一次産業の活性化

議長：矢 嶋 英 敏 (株)島津製作所 会長

小 嶋 淳 司 がんこフードサービス(株) 会長

意見発表者：

有 馬 純 経済産業省 官房審議官 地球環境問題担当

秋 元 圭 吾 (財)地球環境産業技術研究機構 システム研究グループ
グループリーダー・副主席研究員

太 田 賢 司 シヤープ(株) 取締役専務執行役員技術担当

鈴 木 淳 司 鈴木産業(株) 社長

美 甘 哲 秀 丸紅(株) 経済研究所 副所長

高 木 勇 樹 (財)都市農山漁村交流活性化機構 理事長、
元 農林水産事務次官

(7) 激動する世界経済と日本

(パネル・ディスカッションと参加者による自由討議の二部構成)

深刻な世界金融・経済危機下での船出となるオバマ新政権により米国及びその経済がどのように変革され、また世界秩序がどのように変化するのか、そして世界経済の牽引役を担ってきたアジア・中国経済の展望と世界における日本の役割について議論する。

議長：堀 場 厚 (株)堀場製作所 会長兼社長

牧 野 明 次 岩谷産業(株) 社長

パネル・ディスカッション

「オバマ大統領の経済戦略と世界の新秩序」(1日目)

コーディネーター：

地 主 敏 樹 神戸大学大学院 経済学研究科 教授

パネリスト：

村 田 晃 嗣 同志社大学 法学部 教授

酒井 吉 廣 (株)日本政策投資銀行 参事役、
米国戦略国際問題研究所 非常勤研究員
藤山 知彦 三菱商事(株) 執行役員・国際戦略研究所所長
「世界の成長セクター」アジア・中国経済の行方と日本の役割」(2日目)
コーディネーター：
横川 浩 大阪ガス(株) 副社長
パネリスト：
柯 隆 (株)富士通総研 経済研究所 主席研究員
杉本 孝 大阪市立大学大学院 創造都市研究科 教授、
京都大学経営管理大学院 客員教授
大木 博巳 独立行政法人 日本貿易振興機構 海外調査部
主任調査研究員

◇交 流 会 [17:45～18:45]

2月6日(金)

◇分科会討議 [9:00～12:30、前日より継続]

◇昼 食 [12:30～13:30]

◇全体会議 [13:30～15:40]

(1)特別講演

塩川 正十郎 氏

(2)関西財界セミナー賞 2009 授与式

(3)セミナー宣言採択

中野 健二郎 (社)関西経済同友会 代表幹事

(4)顧問団代表所感

水越 浩士 神戸商工会議所 会頭

(5)閉会挨拶

下妻 博 (社)関西経済連合会 会長

◇懇親パーティ [16:00～17:00]

挨拶・乾杯

野村 明雄 大阪商工会議所 会頭

以 上